

事業評価票（情報システム関係予算）

9	オープンデータ推進（総務局情報通信企画部）	運用開始	平成 28 年度				
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> オープンデータ推進では、各局が保有する情報を機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開する。 平成28年度は、オープンデータ化の本格実施に向け、データの質・量の拡充とデータ公開基盤の整備などを行う。 						
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 各局保有データについて、機械判読に適したファイル形式の高度化を行う必要がある。 データの検索、アクセス、連携を容易に実現するための公開基盤を整備する必要がある。 						
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> データオープン化とデータ形式整備の作業委託に伴う費用を計上する。 カタログサイト機能追加に伴う費用を計上する。 <p>【平成28年度見積事項】 作業委託経費、運用経費</p>						
	28年度見積額	42 百万円	27年度予算額	- 百万円	26年度決算額	- 百万円	
行政改革推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> オープンデータ化とデータ形式整備に係る作業委託経費については、必要性は認められるが、予算執行時には実施内容に応じた精査を要する。 カタログサイト機能追加経費については、機能追加事項の見直しを要する。 				妥当	見直し	見送り
	28年度所要額				17 百万円		
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 上記評価に同じ。 				妥当	見直し	
	28年度予算額				17 百万円		
	28年度予算額				17 百万円		
10	電子調達システム（財務局経理部）	運用開始	平成 13 年度				
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> 入札情報、資格審査、電子入札、契約事務の各機能からなる調達業務を支援するシステムである。平成22年度から公営企業局で運用する同様のシステムと統合したシステムに再構築し25年1月から全面的に新システムへ移行した。 						
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 制度改正等に対応するため、システム改修を行う必要がある。 システム機器のリース期間終了に伴う機器更新を行う必要がある。 2年に1度の定期資格申請が予定されており、調達業務に支障をきたさないための運用体制を確保する必要がある。 						
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> 調達事務が滞ることがないように確実に安全な運用を行う。 システムの稼動状況を詳細に監視し、更なる品質向上及び安定稼動に向けてシステム及び運用の改善を行う。 制度改正等に対応させるため、システム改修等の対応を行う。また、公営企業局における制度改正や事務処理変更についても、一次窓口として財務局が対応する。 <p>【平成28年度見積事項】 制度改正等対応に伴う改修経費、運用経費、機器賃借経費、Webサーバ保守経費、経営事項審査等データ利用料、回線使用料、コアシステム保守料等</p>						
	28年度見積額	729 百万円	27年度予算額	484 百万円	26年度決算額	486 百万円	
行政改革推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> 制度改正対応等に伴う改修経費については、実績を踏まえて作業規模が精査されており、妥当である。 その他の経費についても、精査されており、妥当である。 				妥当	見直し	見送り
	28年度所要額				729 百万円		
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 上記評価に同じ。 				妥当	見直し	
	28年度予算額				729 百万円		
	28年度予算額				729 百万円		